

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第8期 第1年 第2回 第1日)
議事録

1 日時 2010(平成22)年6月13日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 24人

おうたいら きよ 許可欣、こうき 耿輝、すずき しんきん 鈴木新琴、ちん しー あん よんいり 陳曦、あん 栄一、きん さんぷあ 金祥和、じょん そしん 鄭昭辰、ばく ちやんほ 昌浩、たかはし りさ 高橋りさ、なかにや じんきー 那谷屋ジンキー、なかもり じゅりあ みどり 中森ジュリアみどり、えろく かりまー 埃洛克ハリマー、だしどーろヴ まらるごー アディカリ スディーブ、たおわん きつてい ちゃい だしどーろヴ マラルゴ、アディカリ スディーブ、たおわん キツティチャイ、おぼんこ だけ オカンボス エルナン、おいで おりえった やなぎわ あんな、ころんつい かるる エドモンド ダンカン、うーじえ ちゃーと てびと 生田オリエッタ、柳澤 アンナ、コロんツイ カロル、エドモンド ダンカン、ウーじえ、チャート デビト

(2) 事務局

うえの しつちよう あべ たんとうぶちよう にしやま たんとうかちよう おがわ かちようほさ むかい たんとうかかりちよう
上野 室長、阿部 担当部長、西山 担当課長、小川 課長補佐、向井 担当係長、
ゆかわ 職員、にしぐち せんもんちようさいん
湯川 職員、西口 専門調査員

4 傍聴者 11人

5 会議次第(公開)

- (1) 開会のあいさつ
- (2) 事務局説明
- (3) 議事
- (4) その他
- (5) 事務連絡

6 議事等の経過

【全体会】

えろく 委員長「これから川崎市外国人市民代表者会議2010年度第2回第1日を
開催する。まず事務局からの説明をお願いします。」
(事務局から日程と配布資料の説明)

【市内視察について】

えろく 委員長「市内視察について、スケジュールと市内視察先を決めたい。事務局か
ら説明をお願いします。」

(事務局から視察日時と視察先の案の説明)

えろく 委員長「今の説明について何か質問・意見はあるか。」

えどもんと 委員「この日程だと、夏休みに入るの、参加者が少ないのではないか。
視察先については、意味のあるところに行ったらほうがよい。代表者会議として関係
がある、例えばふれあい館など、よく考えたほうがよい。」

事務局小川課長補佐「日程については、7月、8月は会議がないので、その期間がよいのではないかと、連休を避けたので、7月25日と8月1日という案を出している。」

金委員「私は高津区民だが、7月25日は高津区民祭があるのではないか。」

事務局小川課長補佐「ご指摘のように、7月25日は高津区民祭がある。」

コロンツイ委員「今2つの案があるので、投票の仕方を説明してほしい。どちらか1つしか賛成できないのか。どちらの案にも賛成できるのか。」

エロツク委員長「決定は、過半数を超えないといけないので、1つの案だけ賛成しても、2つの案両方に賛成しても、結果的にどちらが過半数を満たすのかが重要。」

オハンゴ副委員長「どちらか一方に手を挙げればよいのではないか。」

事務局上野室長「事務局から提案させていただきたい。案1、2以外の日を希望する方がいる可能性もあるので、7月25日、8月1日、それ以外という3つの案を作るのはいかがか。1人何回でも手を挙げてよい。その上で、案1、2、3、それぞれが過半数を超えたときに、改めてもう一度過半数を超えた分について、どちらかを選んでいただくという提案をさせていただきたい。」

エロツク委員長「皆さん、今の事務局の提案でいかがか。」

コロンツイ委員「了解した。前回も同じように、投票をするときのルールが不明確なところがあった。何に手を挙げたらよいかははっきりさせたい。ありがとうございます。」

エロツク委員長「ほかの方は何か質問・意見はあるか。先ほどの事務局の案1と案2のほかに、提案したい日程がある方は述べていただきたい。」

エドモンド委員「案3を入れて、案3が一番多かった場合に決めればよい。」

朴委員「この5つの施設について、お盆休みなどの臨時休館日はあるか。」

事務局湯川職員「日曜日であればこれらの施設はすべてあいている。市の施設なので、お盆休みはない。」

エロツク委員長「では、案1・7月25日、案2・8月1日、案3・その他ということでは、よいか。」

(異議なし)

エロツク委員長「では、決めていきたい。」

- <採決>
- ・案1 7月25日(日)午前 賛成9人
 - ・案2 8月1日(日)午前 賛成14人(決定)
 - ・案3 その他 賛成1人

エロツク委員長「本日出席者は24人で、過半数は13人なので、案2に決定した。続いて視察先を決めたい。今回バスを借りることができないので、丸1日というのは難しい。個人的な意見としては視察は午前中だけにして、その後希望者だけ一緒にランチをしたいと考えている。視察先についても案1から5までであるが、全て過半数を満たさない場合、トッポ2つに絞って再度決をとり、過半数の案に決めたい。これについて、何か質問・意見はあるか。」

タオワン委員「複数の案に賛成することはできるか。」

エロツク委員長「できる。他に質問・意見がなければ、決めていきたい。」

- <採決>
- ・案1 川崎市平和館と川崎市市民ミュージアム 賛成9人

- ・案2 川崎市ふれあい館 賛成12人
- ・案3 川崎市子ども夢パーク 賛成2人
- ・案4 日本民家園と岡本太郎美術館 賛成4人
- ・案5 川崎マリエン 賛成0人

エロック委員長「本日は過半数が13人なので、どの案についても過半数になっていない。従って、トップの案1と、案2に絞って決めたい。」

エドモンド委員「1日で案1と案2両方の視察はできないのか。」

エロック委員長「個人的な意見として、丸1日という日程はきつい。私は午後の時間は家族や自分の為に使いたい。他に意見はないか。」

那谷屋委員「せっかく行くので、1日使って両方まわりたい。」

エドモンド委員「バスではないので、1日参加できない人は、午後帰るというのはどうか。」

事務局上野室長「事務局から提案させていただきたい。まず、過半数に満たない場合上位2つからもう一度投票するということがあったので、そのルールで一度投票いただき、結果が出た上で、午前中そこに行き、時間のある方は午後もう1つの案に参加いただくのはいかがか。」

エロック委員長「私は賛成する。皆さんはいかがか。」

(異議なし)

エロック委員長「では決めたい。」

- <採決>
- ・案1 川崎市平和館と川崎市市民ミュージアム 賛成9人
 - ・案2 川崎市ふれあい館 賛成15人 (決定)

エロック委員長「過半数に達したので、市内視察は案2、川崎市ふれあい館にする。これについて、何か意見はあるか。」

安委員「今回の視察はこれでよいが、今後視察先として、川崎市立病院、看護施設や、そこでボランティアで働いている外国人の方々の仕事を見るなど、川崎市の外国人市民向けのサービスを実際に自分たちの目で見たほうがよいのではないか。」

【審議テーマについて】

エロック委員長「続いて審議テーマについて。まず事務局からテーマ意見交換のまとめについて説明をお願いします。」

(事務局がテーマ意見交換のまとめについて説明)

【調査審議の進め方について】

エロック委員長「では、これから調査審議でこれらのテーマをどういうスタイルで審議していくかを決めたい。まず事務局に説明をお願いします。」

(事務局から調査審議の進め方について説明)

エロック委員長「今の説明について質問・意見はあるか。」

チャート委員「全体会議で審議するのは、無理ではないか。部会に分けたほうがいい。」

エロツク委員長「全体会議は1人1人の発言する時間がすごく短くなるのがデメリットだと思おう。」

オカンボス委員「部会に分けた場合、それぞれの部会審議の議事録は配布されるのか。他の部会の内容を知ることができるか。」

事務局小川課長補佐「部会を設置した場合は部会後に、全体会を開いて、部会審議の内容を報告していただく。議事録も作るので、後日確認していただくことになっている。」

エロツク委員長「部会後の全体会議で、部会審議の報告をしてもらった後に、質問の時間があるので、報告で分からない点は自由に質問できる。」

朴委員「テーマ意見交換のまとめには全部で13項目ある。これをさらに似ているテーマごとにまとめて、3つか4つのテーマにして、部会とするのはどうか。次回視察先を決める際には、部会のテーマと関連させて考えてもよいのではないか。」

コロンツイ委員「部会審議の悪い点で、他の部会の内容が分かりにくいだけでなく、他の部会のテーマについて発言したり、貢献できないという点もある。」

エロツク委員長「第7期では、違う部会の内容に対し、意見を言いたいということがあり、全体会議で報告をする時間を長くした。今回部会を作るならば、報告する時間を長くして、他の部会の人にも意見を言える時間を設けたい。では、ほかに意見がないので、部会設置について決めたい。」

<採決> ・案1 全体審議のみで部会は設置しない 賛成0人
・案2 部会を設置し、部会で審議する 賛成24人(決定)

【部会の数について】

エロツク委員長「部会を設置することが決まった。部会を幾つに分けるか決めたい。部会の数について何か意見はあるか。」

チャート委員「第7期を傍聴したが、2つの部会でも審議の時間が限られていると感じた。今回部会を3つにしたらどうか。」

柳澤委員「部会は2つで、各部会の中をまた2つのグループに分けるとするのはどうか。この場合、1グループ5~6人で話し合い、その後内容について意見交換をして全体会に出るといった形になる。」

コロンツイ委員「部会の中を分けるかどうかなど、進め方は、部会ごとに決めたほうがいい。私は部会は2つがよいと思う。」

エロツク委員長「部会のやり方は部会で決めたほうがよい。まず、部会の数を決めたい。3つの部会と2つの部会という案が出た。」

中森委員「まずテーマをどういうふうに分けたいかを決めてから、部会の数を決めたいほうがよいのではないか。」

エロツク委員長「先ほど、ほかのメンバーからも3つの部会に分けたほうがいいのではないかという意見があったので、まず2つか3つに分けたい。」

<採決> ・案1 2つの部会にする 賛成19人(決定)
・案2 3つの部会にする 賛成5人

【任期途中での部会の移動を認めるか、について】

エロック委員長「案1が過半数になったので、2つの部会で調査審議をする。次に任期途中での部会の移動について考えたい。何か意見はあるか。」

チャート委員「私が傍聴した際は、ほとんどの審議が前回の内容を踏まえて進んでいたもので、途中で部会を変えるのは難しい。」

タOWN委員「2年間はあっという間で、自分の部会で精一杯で別の部会を知るのも難しかった。時間も限られているので移動しないほうがよい。」

オパンゴ副委員長「部会では各テーマごとの審議のスケジュールを組む。審議している内容が1年で終われば変えられるが、終わらないのに、部会を移るのは難しい。」

金委員「部会を移るメリットは、1つの部会に入ってしまうと、他の部会の内容がわからなくなり、参加しにくくなること。移れないなら、他の部会に参加できるような報告と質問の時間を長くする、というところを充実させればよいのではないか。」

エロック委員長「では、他に意見がないので部会の移動を認めるかどうかについて決めたい。」

- <採決>
- ・任期途中での部会の移動を認める 賛成4人
 - ・任期途中での部会の移動を認めない 賛成17人(決定)

【部会で話し合うテーマについて】

エロック委員長「続いて、2つの部会で話し合う内容について決めたい。何か意見はあるか。」

タOWN委員「資料2テーマ意見交換のまとめを見ると、2つに分けられる。教育と子育てを1つにして、社会参加と生活をもう1つにするのはどうか。」

コロンツイ委員「最初に部会で審議する範囲を決めてテーマをそれぞれに振り分ける方法と、テーマの13項目をまず2つに分けてから、それぞれの部会にあてる方法と、2通りあるのではないか。」

柳澤委員「資料2の左項目1~4と右項目5~13で2つに分けられる。」

朴委員「先ほど子育てを教育に入れるという話があったが、保育園の不足や入園の優先枠など社会的な問題なので、社会生活に入れてはどうか。」

柳澤委員「子育てを教育からはずすと、社会部会は扱う問題が多いが、教育部会はやることなくはないか。」

エロック委員長「部会のテーマについては2つの意見が出ている。まず、この13項目を最初から教育関係と、社会と外国人生活関係の2つに分ける案。もう1つは最初から教育か社会を決めずに、13項目のテーマを2つの部会に振り分けて、そこから決めるという案。この2つの案のどちらにするか決めたい。」

- <採決>
- ・案1 教育、社会生活の2つの部会にする 賛成14人(決定)
 - ・案2 テーマ13項目を最初に2つに分けてから決める 賛成9人

エロック委員長「次に、皆さんが、どちらの部会に参加したいかを聞かせていただき、メンバーを決めたい。」

コロンツイ委員「先に13項目のテーマがそれぞれどちらの部会に入るか知りたい。」

柳澤委員「項目1~4は教育で、5~13は社会に入れるのはどうか。」

事務局上野室長「一度最終確認で、おおむね教育関係の部会にはどのテーマが入ってくるかを確認してはいかがか。先ほど出たように、1番から4番を教育関係5番から13番は社会関係ということで考えるという案が出ている。」

エロック委員長「では、確認として、1～4は教育関係の部会のテーマに入っている、5～13は社会関係の部会のテーマということでよいか。」

- <採決> ・案1 項目1～4が教育部会のテーマ 賛成20人(承認)
・案2 項目5～13が社会部会のテーマ 賛成21人(承認)

【部会のメンバー割り振りについて】

エロック委員長「続いて、皆さんが入りたい部会について話し合いたい。」

<教育関係部会>

王平、生出 オリエッタ、金 祥和、安 栄一、柳澤 アンナ、鈴木 新琴、エドモンド ダンカン、許可欣、オパンゴ デケ、朴 昌浩、

<社会関係部会>

エロック ハリマー、那谷屋 ジンキー、耿 輝、コロンツイ カロル、陳 曦、
タオワン キッティチャイ、ダシドローヴ マラルゴ、アディカリ ステイーブ、
チャート デビト、中森 ジュリアみどり、高橋 ロサ、呉 潔、鄭 昭辰、
オカンボス エルナン

エロック委員長「欠席の2人には次回決めてもらう。続いて、皆さん部会に分かれて、審議していただきたい。まず、部会長と副部会長を決めてもらいたい。では事務局から説明をお願いする。」

(事務局から、部会長副部会長の役割と部会の名称について説明)

エロック委員長「では、部会審議に移ることとする。」

【社会生活部会】

事務局湯川職員「最初に部会の進行だが、部会長が決まるまで、エロック委員長に司会進行をお願いしたい。」

エロック委員(司会)「最初に部会長を決めたい。立候補、推薦はあるか。」

- <推薦> コロンツイ カロル 辞退
タオワン キッティチャイ 辞退
チャート デビト 承諾
オカンボス エルナン 辞退
中森 ジュリアみどり 辞退

- <採決> ・部会長 チャート デビト 全員賛成(決定)

チャート部会長「ありがとうございます。頑張ります。では、副部会長の決定の前に確認したい。副部会長は事前会議に参加しないのか。」

事務局湯川職員「副部会長は、正副委員長部会長会議には参加しない。部会当日、部会長がお休みの場合に進行をお願いする。」

チャート部会長「平日の会議がきつい方でも、副部会長の役割ができる。副部会長の推薦、立候補はあるか。」

< 推薦 > アディカリスティープ 辞退
 コロんツイカール 承諾
 タオウン キッティチャイ 承諾

チャート部会長「では、コロんツイさんと タオウンさんが候補になった。まず、二人から自己PRをお願いする。」

コロんツイ委員「みんなで頑張って、できるだけ提言まで持っていけるようなことを話し合っ、グループ内は仲良くお願いします。サポートします。」

タオウン委員「当選したら、一生懸命頑張ります。」

< 採決 > ・コロんツイカール 挙手多数 (決定)
 ・タオウン キッティチャイ

チャート部会長「次は部会の名称を決定したい。意見はあるか。」

コロんツイ委員「社会生活部会という案を出したい。」

< 採決 > ・案 部会の名称：社会生活部会 全員賛成 (決定)

チャート部会長「次は、テーマについて審議したい。資料2を見てほしい。この項目すべてを審議するのは難しいので、テーマを絞ったり、具体化したりする必要はある。これについて意見はあるか。」

耿委員「部会は1年間で何回開催されるか。」

事務局湯川職員「今日の回を除くと、残り5回。」

タオウン委員「私は第7期も社会生活部会にいた。第7期では、1年間ごとに別のテーマを審議した。最初に皆さんが話し合いたいテーマを出して、もし2つ出るなら、2つのグループに分かれて議論して、また全員で話し合っ、提言を決めるといのはどうか。」

耿委員「資料2の項目5から13までがこの部会のテーマになるが、その中で、大きいテーマ、2つ3つに絞りたい。」

コロんツイ委員「最初から大きなテーマに絞るのではなく、簡単なテーマと奥深いテーマに分けて、簡単なテーマは時間をあまりかけず審議するという形にしてはどうか。」

チャート部会長「この代表者会議は、川崎市の会議なので、できるだけ川崎市が管轄することにテーマを絞ったほうが効果的である。」

タオウン委員「最終的に提言として出せるテーマは幾つなのか。」

事務局湯川職員「提言の数については、制限がないので、幾つでも出せる。」

オカンボス委員「この5から13まで既に過去に提言が出ている項目があるので、過去に提言になっていないものについて審議したほうがよい。」

高橋委員「フィールドワークを行いたい。議論するにも、現場を見てからのほうが、よいのではないか。」

コロんツイ委員「提言の進行状況と、再推進、再確認というのはどうやっているのか。達成されていない提言に関して、毎年取り組みをしているのか。」

事務局阿部担当部長「提言についての取り組みがまだ進行中というものはBの評価になる。続いて提言と言う形で出していただくことはできる。」

事務局上野室長「ある内容について、現状・市の取り組みなどについて資料を出してほしいと会議で言ってもらえば、次の会議で資料を出すことができる。その内容を見たうえで、協議していただき、もう一度提言を出すかどうかなど、まとめていただきたい。」

コロンツイ委員「提言に対する取り組みの進行状況はいつのものを見ればよいか。」

事務局上野室長「一番新しい進行状況は、2009年の10月1日付で、年次報告書の中に回答が載っている。」

チャート部会長「では、ここで部会を閉会とする。」

【教育文化部会】

事務局小川課長補佐「デケさんに進行していただき、部会長と副部会長を決めていただく。部会長は事前の会議に出ていただく必要があるので、了解いただきたい。」

オパンゴ委員（司会）「まずはこの部会の部会長の選出がある。正副委員長と同じ方法で選出するか、違う意見があるかを、皆さんに聞きたい。」

エドモンド委員「事前の会議は平日の何時頃か。」

柳澤委員「事前の会議は副部会長も出なくてはいけないのか。」

事務局小川課長補佐「出席するのは部会長だけである。第7期は夕方の6時、7時から2時間程度市役所の中で行った。」

王委員「やりたい人を自薦、他薦していくのはどうか。」

柳澤委員「ダンカンさんを部会長にどうか。」

エドモンド委員「平日の夜は都合が悪いので、部会長はできない。」

オパンゴ委員長「委員長と副委員長、部会長の4人で都合の良い時間を調整することになる。」

王委員「では、都合が悪い場合、副部会長に行ってもらうことになるのか。」

オパンゴ委員（司会）「夜ではなくても平日に時間をつくれる人はいるか。」

柳澤委員「立候補して部会長になったあと、1度も事前の会議に出られない場合は意味がないのではないかと。平日に空いている人はいないのではないかと。」

オパンゴ委員（司会）「このままでは部会長なしになってしまう。私は副委員長として事前会議に出席するので、副委員長と副部会長を兼任し、事前会議で出した話を部会長に報告することはできる。こういう形はどうか。」

事務局上野室長「委員長には委員長の役割が、副委員長には副委員長の役割、部会長、副部会長もそれぞれに役割があるので、副部会長と副委員長の重複はないということをお願いしたい。部会長の役ができないのではなく、日程的に難しいのであれば、事務局が間に入って、事前会議の内容を事務局から部会長に報告する、部会長の意見を他の正副部会長に伝える、というやり方もできる。メールや電話でのやりとり、あるいは事務局がご自宅に伺うなど、できる限りのことは行うので、まず、部会長になってもらいたい人ということで選んでいただきたい。」

オパンゴ委員（司会）「では、部会長に立候補したい人はいるか。推薦もお願いしたい。」

<推薦> エドモンド ダンカン 承諾

<採決> エドモンド ダンカン 賛成多数（決定）

事務局小川課長補佐「では部会長と決定したので、エドモンド・ダンカンさんに議長をお願いする。副部会長の選出をお願いする。」

エドモンド部会長「では、副部会長になりたい人はいるか。」

<立候補> 朴 昌浩

<推薦> 柳澤 アンナ 承諾

<採決> 副部会長 ・ 朴 昌浩 賛成3人
・ 柳澤 アンナ 賛成過半数(決定)

エドモンド部会長「では部会の名称を決めたい。」

安委員「教育部会の名称は、過去5、6、7期と変わっていない。第7期と同じでよい。」

鈴木委員「5、6期は「・」があるが、第7期は「・」がない。これも意味が違う。」

エドモンド部会長「では第7期同様「教育文化部会」でよいという人は拳手して。」

<採決> ・ 案 教育文化部会 全員賛成(決定)

エドモンド部会長「では、「教育文化部会」という名称になった。では、今日の教育文化部会の会議は終わりにする。」

【全体会】

【部会報告】

エロック委員長「全体会議を改めて開催する。では社会生活部会から審議内容を報告していただく。」

チャート委員「社会生活部会の報告をしたい。まず社会生活部会の名称に決まった。そして部会長として、私チャートが選ばれ、副部会長は、コロンツイ・カロールさんになった。」

エロック委員長「教育文化部会の報告をお願いしたい。」

エドモンド委員「部会の名前は、教育文化部会になった。部会長は、私エドモンド・ダンカンと、副部会長は、柳澤アンナさん。」

【各種実行委員会報告】

エロック委員長「では、各種実行委員会について、に入りたい。その前に、前回の5月の会議に欠席されたタオワンさんの希望を聞きたい。」

タオワン委員「ニューズレターの実行委員会に参加したい。」

エロック委員長「タオワンさんはニューズレター実行委員会ということで、オープン会議は9人、市民祭り6人、多文化フェスタ6人、ニューズレターは5人になる。皆さん、これでよいか。」

(異議なし)

エロック委員長「この会議の前に実行委員会のミーティングを行うが、全体会議で必ずそれぞれの実行委員会の報告をしていただく。まずオープン会議だが、オープン会議の目的について話し合いをした。資料4会議の目的の第8期代表者会議で審議している内容を中心に、代表者以外の人の意見を聞き、審議の参考にする。外国人をめぐる状況について、広く現状を把握する機会とする。代表者会議

のPR、外国人市民同士及び外国人市民と日本人市民の交流と出会いの場とする。この目的にしたいが、皆さん、よろしいか。この目的で賛成であれば、拳手いただきたい。」

<採決> ・オープン会議の目的案

資料4 ~ 賛成24人(決定)

エロック委員長「では、ニューズレター編集委員会からの報告をお願いします。」

チャート委員「資料5を見てほしい。私が委員長になった。基本的な委員会の内容は、39号の案について話し合い、真ん中の2ページを今回の代表者の紹介に使い、1ページ目に第8期代表者会議が始まるという記事と、傍聴者を促すような記事とスケジュールを入れることにした。そして4ページには、第7期の会議の提言の提出の記事と、代表者の多文化共生体験の記事と、市役所の依頼で国勢調査についての記事を入れることにした。資料5で空欄の中国語とスペイン語の翻訳チェック担当は決まった。中国語は耿輝さん、スペイン語はオカンボスエルナンさん。ほかの代表者からの質問はあるか。」

コロンツイ委員「希望者だけでも印刷前にドラフトを見ることはできるか。」

事務局湯川職員「ご希望をいただければメールで事前にお送りする。事務局のほうから一度皆様に希望の調査をするので、お答えいただきたい。」

エロック委員長「続いて市民祭り実行委員会の報告をお願いします。」

アディカリ委員「資料6を見てほしい。今日決めるべきことは、2つあった。まず実行委員長を決めることだが、私が委員長になった。皆さんの協力をいただかないと何も動かないので、依頼したときにご協力をお願いします。つづいて、参加日数について。市民祭りは3日間あるが、前は2日間だけ参加した。今日の会議では一応3日間とも参加することを考えている。それについては、事務局から皆さんにアンケートを送ることになっている。アンケートの回答とプログラムの内容に応じて、次回決めたい。パレードの参加についてもアンケートが配られるので、ぜひ26人の皆さんと、家族や友達も含めてパレードにぜひとも参加していただきたい。」

柳澤委員「アンケートの内容は、自分の参加できる日にちと時間についてのものか。」

事務局湯川職員「実行委員会では3日間参加をする方向で、皆さんにアンケートをとり、金曜日に誰も参加できない人がいないということであれば2日間にするということで、アンケートの結果を見て、次回もう一回提案したい。」

タオワン委員「第7期の最初の年は3日間とも参加し、去年は2日間だけ参加した。3日間参加したときは、本当にメンバーが足りなかったが、去年はメンバーの参加が多かった。今回の代表者会議のアピールにもなるので、パレードの参加については、ぜひ皆さんに参加をお願いします。」

コロンツイ委員「パレードは1回なので、みんなに参加してもらえると、私も非常に嬉しい。土曜日のお昼ちょっと前だと思うが、詳しいことは後ほどお知らせする。」

オカンボス委員「パレードは家族や友達で集まって一緒に参加したほうがいい。そのほかにステージで、それぞれの国の文化のダンスや歌を披露するなど、いいアイデアがあれば取り入れたい。」

柳澤委員「その項目もアンケートに入れていただきたい。」

事務局湯川職員「ではアンケート項目に入れることにする。」

エロック委員長「では、多文化フェスタみぞのくち実行委員会の報告をお願いします。」

陳委員「多文化フェスタみぞのくちは2010年10月23日の土曜日に開催される。

会場は溝の口の高津市民館になる。実行委員長が鈴木新琴さんに決まった。屋台に出すメニューは、えびせんべいが決まり、あと水餃子かウンタンかがまだ検討中。あとロシアの料理、ボルシチスープに決まった。皆さん、ほかに何か提案はあるか。」

エドモンド委員「ステーキサンドイッチは簡単なので、どうか。」

陳委員「もしレシビがあれば、事務局に送ってほしい。」

エロック委員長「ではこれで本日の会議、2010年第2回第1日を終了する。皆さん、お疲れさまでした。」